

中学一年の長男は1万8000円のママチャリに乗っています。10万円のマウンテンバイクを中学の入学祝いに買ってあげたのですが、乗ってくれません。同級生がみんなママチャリなので、自分だけ目立つ自転車には乗れないのだそうです。バカなPTAや教育委員会が差別になることを恐れて運動会をつまらなくすることに呆れるだけですが、子ども同士が自主的に貧富の差を調整していることには愕然としました。

日本にはいつから共産主義が蔓延してしまったのか!? 親が金持ちか貧乏人かで、理不尽な優越感や劣等感を体験できる場として小中学校を公立校に進学させた僕の目論みが無駄になってしまいました。

僕は貧乏人の家庭で、3人兄弟の末っ子として育ちました。愛情はたっぷりと与えられましたが、お金にかけてもらえません。家は2部屋しかなく、当然服や自転車などはお下がりです。お金持ちの家との差は小学生の頃から気付き、コンプレックスを持っていました。だから、金持ちの子どもには与えられない生き残るためのエネルギーや根性をもらえたと確信しています。なのに僕の息子は裕福な生活をしながら、貧乏人の子どもにそのエネルギーすら与えようとしません。

僕は決して共産主義を否定しませんが、むしろ理想だと考えています。しかし現在の人間のレベルが低いので、弱者を甘やかすと、その人間の最大の努力をしなくなりません。ひいてはその人間の可能性を失わせることになり、一生を弱者として送ることになります。だから弱者のためには厳しい環境が必要だと考えるのです。ただし、仮病でない病人、障がい者や、一生懸命生きてきた老人は、もちろんその範疇ではありません。

さて、本題の農業に置き換えてみましょう。マスコミにも農家の台所のポスターにも出たくないという超優秀な生産者さんがいます。目立つと近隣の農家から嫌がらせをされるからだそうです。どうですか、息子のママチャリとまったく同じ発想です。すよね。そんな発想の業界に未来があるはずがありません。

何度も言ってきましたが、日本の農家はみんな前頭（農業生産者）だから大相撲（農業業界）が盛り上がりません。横綱・三役（篤農家）をスター選手にすれば農業業界が盛り上がるんです。

「NKP48（窒素・カリ・リン）」と名付けてトップ篤農家48人をあざとく紹介してマスコミに取材させようと企んだのですが、まったく相手にされませんでした。それは国立フ

ーム内で篤農家の序列がなかったからだと思います。皆さま全員が大切な篤農家なのですが、ここは敢えて人気順位という序列を付けることで、1位の篤農家さんに取材が入ってスター選手になれば篤農家ランキングも注目され、また新たなスターが生まれてくるという目論みです。

同じように努力している農家がマスコミに注目され、その生産物も高値で取引されるようになれば、そのほかの生産者はムカつくはず。それがエネルギーになって、また新たな篤農家が生まれてくるという循環が必ず生まれるのです。それが、競争原理に基づいた強い農業業界を産み出すのです。

最後に、努力しても報われない弱者の農家はどうか？……答へは簡単です。公務員かサラリーマンになって農地を売ってください。努力しても経営が成り立たないのは農業のせいではなく、経営のセンスがないからです。センスのない人間はセンスのある経営者の下で働くことで両者を生かすことになるからです。どうしても農業を続けたいのなら、坂上さんのような生産法人で働くか、木内さんのような優秀な商売人の傘下に入れば良いことです。弱者が自営業という強者の仲間入りを気軽にできない農業業界を創ります。

国立ファーム有限公司

高橋がなりの

アグリの田

～早く「虎」に変わるんだ！～

第43回

日本の農家に序列を付ける！ランキング始めました。